

1 組織名 南煙山自治会

2 地区の概要

○面積 1.954 k m² ○世帯数 125世帯 ○人口 360人

(1) おいたち

南煙山行政区内は、昭和56年矢巾町のコミュニティ条例の制定により町の行政区再編対策に基づき、町から耳取・下煙山両行政区の合併について勧奨されたことにより平成元年4月1日に成立した行政区である。その生い立ちの違いからそれぞれ特色が以下のようにあるものの地区住民の融和に向けて様々な事業を展開しているところである。

旧耳取行政区は、江戸時代の享保年間の初期（1710年頃）に現在の紫波町長岡にあった長岡城の城主長岡八右エ門註尹の家臣、稲垣家（屋号耳取）の与七・与助の兄弟が現在の耳取の地を開墾すべく移住したのが、耳取行政区の発祥となっている。

また、旧下煙山行政区は、江戸時代の元治元年（1864年）南部藩における検地があり、その時の下煙山村の馬場と三島神社付近が白沢村に編入され、また白沢村の内にあった現在の大字煙山第29地割九用坊が煙山村に編入された。これが下煙山部落の誕生の基である。

以上のような地域的特色があるものの、古来より両部落民は地域的な関係から相互に親睦交流を図られていたことから、合併問題が持ち上がったときにおいては特別な支障はなかった。

(2) 特徴、特色

矢巾町のシンボルでもある南昌山の麓に広がる南煙山行政区は、西部地区に鹿妻幹線水路と並行して高速自動車道と県道不動盛岡線が、また東端を県道盛岡石鳥谷線が南北に貫き、気候は比較的温和で積極的に農業の開発をすすめてきた行政区である。農業に従事する割合は兼業を含めると90%を超えて、特に稲作作付が主要作物となっており稲作に加えて野菜、りんご、畜産、シイタケ等を基幹とした複合経営を図り質の高い農業経営を行い農家経済の安定を目指している。

近年、役場庁舎及び関係諸機関が隣接行政区に移転になり、町の中心部に位置する都市近郊の行政区として変貌を遂げつつあるものの、水と緑と豊かな田園に囲まれた行政区の自然を大切に、豊かな田園都市への実現を図るべく邁進している。

3 コミュニティ計画

(1) コミュニティ活動方針

①キャッチフレーズ

誰でも気軽に参加できる公民館活動を目指して

(2) 組織体制及び活動の内容

区 分	活 動 の 内 容
自治会役員会	自治会活動計画策定、予算の立案執行、各種団体への助成、各種事業の総合調整、行政との連絡協調
公民館運営委員会	公民館活動の実施、各種教育講座の開催、健康づくりの推進
自主防災会	防災に関する知識の普及・啓発、災害による被害の防止及び軽減

(3) 主な事業、年間行事等

主な事業、年間行事名	内 容	担当委員会
ファミリー登山		公民館運営委員会
おみこし	子ども会と合同で開催	公民館運営委員会
玉入れ大会	班対抗で競う	公民館運営委員会
夏祭り		公民館運営委員会
新年交賀会		自治会役員会
スポーツ大会参加	行政区対抗に参加	体育振興部

(4) コミュニティ施設等の整備計画

(単位:千円)

実施年度	事業区分	事業費	内容説明
令和3年度		0	
令和4年度	防犯灯整備事業	100	防犯灯のLED化
令和5年度	〃	100	〃
令和6年度	〃	100	〃
令和7年度	〃	100	〃

4 資金計画

(1) 収入計画

(単位:千円)

科目	説明	金額				
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
自治会費	自治会費	996	996	996	996	996
補助金	防犯灯電気料補助事業	60	60	60	60	60
	道路・河川愛護奨励金	30	30	30	30	30
	公民館活動補助金	110	110	110	110	110
積立金		0	50	50	50	50
雑収入		4	4	4	4	4
合計		1,250	1,250	1,250	1,250	1,250

(2) 支出計画

(単位:千円)

科目	説明	金額				
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
総務費		150	150	150	150	150
役員手当		200	200	200	200	200
需要費		300	300	300	300	300
環境整備費		100	100	100	100	100
体育振興費		30	30	30	30	30
公民館活動費		200	200	200	200	200
団体補助		100	100	100	100	100
地区補助金		160	160	160	160	160
予備費		10	10	10	10	10
合計		1,250	1,250	1,250	1,250	1,250

組織図

